

東洋突板工芸(株) 代表取締役社長 大関一宏さん

東洋突板工芸(株)が力を入れて
いる製品がある。それはテ
ナージュ。

テナージュとはなんの事だ
ろう?それは、日米で特許を得
ている新素材、つまり天然木自
在シートの事である。

その新素材は、ツキ板を使用
しているにもかかわらず、折り
曲げても割れず、縫製加工も可
能という優れたもの。非常に柔軟
でしかも強度がある。誤って洗
濯してもOKだそう。従来は
廃棄していた端材を使うため
環境にも良い。そして従来の天
然木シートのように表面をフィ
ルムやプラスチックで覆って
いないため、天然木が持つ暖か
い質感を十分に楽しめるのだ。
大関さんは「いろいろな種類
のツキ板に応用できます。でも

今力を入れているのが、屋久杉
を使ったテナージュ製品です
ね。」と語る。事務所のディス
プレイには、屋久杉のテナージュ
製品が展示してある。鞆やセカ
ンドバック、名刺入れ、財布で
ある。

実に魅力的である。“木の宝
石”と称される、屋久杉製品
を、自分だけの物にできるの
だ。二つとして同じ木目のも
のではないことから、全くのオリ
ジナルの“木の宝石”を持て
るのだ。

テナージュとの出会いは、大
関さんに粘り強い探求心から
生まれた。何か新しい製品作り
を探し求めているのだ。:

「やがて、銀行の紹介で特許
庁とのコネクションを得まし
た。そして特許庁から龍谷大学

と大阪の企業“ゼロワンプロ
ダクト”を紹介されたんです。
それがテナージュとの出会い
となりました。テナージュは産
学官連携で生まれた製品で、龍
谷大学工学部と“ゼロワンプ
ロダクト”が関わっていたの
です。すぐさまその製造ライセ
ンスを取得しました。」

聖書の言葉に「求め続けなさい。
そうすれば与えられます。」
とあるが、まさにそれを地をい
くパターンだ。粘り強い探求心
が新しい製品との出会いにつ
ながった。

東洋突板工芸(株)が販売す
る屋久杉を使ったテナージュ
は、自社Web Siteでも
販売している。ちなみにwww.
toyotsukita.jp/である。十個
からオリジナルの注文ができ



るそう。また東急ハンズなど
のショップでも販売している。
さらに今発展的な製品、“木
織テナージュ”にも関わって
いる。これは、テナージュを使
用した、世界初の天然木織物

天然木自在シート「テナージュ」は日本と米国で特許認定されています。

天然木自在シート 特許取得



天然木自在シート
「テナージュ」は、2004年3月
に日本で特許認定されました。

発明の名称:天然木自在シート
特許第3536048
特許確定日:2004年3月19日

天然木自在シート 特許取得
(Flexible Natural Wood Sheet) 米国特許取得



天然木自在シート
「テナージュ」は、2005年8月
にアメリカ合衆国で特許認定
されました。

United States Patent
Patent No.:US 6,936,351 B2
Date of Patent: Aug. 30,2005
[Flexible Natural Wood Sheet]



木織テナージュ

云(株)では、この木織テナージュ

ジュ作りも行っていい。大関さんはこうしたテナージュ製品の躍進を期待している。

大関さんは、地元大川の振興に向けたボランティアにも積極的に関わっている。現在しんきんニューリーダーズクラブの会長を務める。六十八社の地元企業が参加する。「四月二十三日には、大川元気づくりプロジェクト」の第一回会議を行います。新素材、新商品開発、販売の新分野開発を模索します。経済産業省のバック

アップで資金や情報提供を受けることになっていきます。大川の一つの起爆剤になればと考えていますね。」そして、こう付け加える。「次の時代を担う子供達の為に、今を生きる者の責任として、この大川を何としても再生したいですね。誇りを持つる市に再生したい。」

大関さんには、本業に、そしてボランティアに、持ち前の行動力を発揮し続けてもらいたいと思う。

屋久杉を使ったテナージュ製品